

KENWOOD

ミニディスクレコーダー

DM-SE7

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書・別冊『安全上のご注意』が付属されています。
使用者の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9 (青葉台ビル)
(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。



B60-3413-00 (JA)(J) [AP]
98/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 97/12 11 10 9 8

本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットを採用したオーディオ機器です。ミニディスク(MD)とは、光および光磁気の技術を用いて、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(CD)と同等になっています。また、光学式非接触方式なので、外部要因で録音記録が劣化することがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくこともありません。

便利なタイトルサーチ

ミニディスクに録音したとき、収録した曲のタイトルを追加、登録することができます。タイトルが登録されたミニディスクを再生するとき、ジャケット等を見なくてもディスプレイに表示されるタイトルで再生することができます。

高音質再生/録音

本機では、高性能D/Aコンバーター1Bit DACを搭載しており、高音質再生が可能です。デジタル録音では、入力にオプティカル(光)端子を装備し、品位の高い録音ができます。

簡単なCD録音 (O.T.E.)

CDプレーヤー(DP-SE7またはDP-7PRO)と組み合わせてご使用のとき、好みの曲をワンタッチで録音することができます。
(O.T.E.:^{ワン}Touch^{エディット}Edit)

便利な編集機能

自分で録音したディスクの中身を自由に編集することができます。

- 曲順を入れ換える :好きな順に曲を並べ換える。
- 曲を分割する :トラック番号の追加により1曲を2曲に分ける。
- 曲をつなぐ :トラック番号の削除により2曲を1曲にまとめる。
- 曲を消す :不要な曲を消去する。または、全曲消去する。

CD-TEXT表示

CDプレーヤー(DP-SE7またはDP-7PRO)と組み合わせてご使用のとき、CDに収録されたテキスト情報(ディスクまたは曲のタイトル)を、本機側で表示することができます。(文字の種類によっては表示できないこともあります。)

サイバー・タイトラー対応

別売のサイバータイトラー(CT-G90またはCT-H90)を利用することにより、MDへのタイトル入力やタイトル印刷、編集などが行なえます。

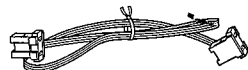
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード(2本)



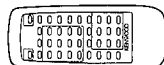
システムコントロールコード(1本)



光ファイバーケーブル(1本)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単3乾電池(2本)



目次

△ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

- 知っておきましょう 4
- MDシステムとは 6
- △ 接続のしかた 8
- 各部のなまえと働き 10
- リモコンの使いかた 12
- MDを聴く 13
 - 1曲目から順に聴く 13
 - 聴きたい曲を選ぶ 14
 - 順不同で聴く(RANDOM再生) 14
 - 聴きたい曲をタイトルで探す(TITLE SEARCH) 16
- プログラムのしかた 17
 - 曲順を自由にプログラムする 17
 - 繰り返し聴く(REPEAT) 19
- 録音のしかた (ANALOG) 20
 - ANALOG録音のしかた 20
- 録音のしかた (DIGITAL) 22
 - DIGITAL録音のしかた 22
 - デジタル録音とSCMSについて 24
- 簡単なCD録音のしかた 25
 - CDの1曲録音(O.T.E.) 25
 - CDの全曲録音(O.T.E.) 25
 - CDとのシンクロ録音 25
- ディスプレイ表示の切り換えかた 26
 - TIME DISPLAYキーについて 26
 - TEXT DISPLAYキーについて 26
- 編集機能 27
 - 編集機能のタイプを選ぶ 27
 - 再生中の曲を入れ換える(TRACK MOVE) 28
 - 曲順をまとめて入れ換える(QUICK MOVE) 30
 - 再生中の曲を分ける(TRACK DIVIDE) 32
 - 再生中の曲をつなぐ(TRACK COMBINE) 34
 - 曲をまとめて消す(QUICK ERASE) 36
 - 再生中の曲を消す(TRACK ERASE) 38
 - 曲の一部分を消す 39
 - タイトル編集のしかた 40
 - タイトルを変更、消去する 42
- CDテキスト編集 44
 - CDテキストをコピーするには 44
- サイバータイトラーを使うとき 45
- 故障と思われる症状ですが 46
- 定格 50
- 保証とアフターサービス (必ずお読みください) 51

取扱上のご注意

設置場所について

MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
電話 (03) 5353-0336
FAX. (03) 5353-0337

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを「露付き」といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約1日間です。長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報（ミニディスク取り出し時に記録される）がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

この製品は、ドルビーラポラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

テキスト
CD-TEXTとは

CDの中に収録された音楽以外の文字情報（ディスク名や曲のタイトル、アーティスト名など）が表示できるように規格されたものをCD-TEXTといいます。本機とCDプレーヤー（CD-TEXT対応）をデジタル接続することにより、CDの文字情報をMDにコピーすることができます。但し、97年現在はMDに文字情報をコピーできないように、CDにコピー禁止コードが入っているものもあります。この場合、ディスプレイに文字情報は表示しますがコピーはできません。文字情報のコピー禁止コードが入っていないCDは、「CDテキスト編集」の操作が可能になります。-44

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

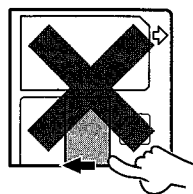
- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

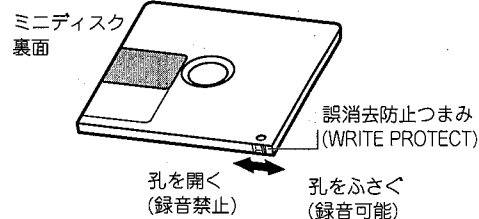
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するとき、下記の操作を行ってください。

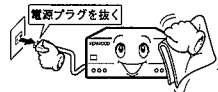
1. ミニディスクを入れないで "on/standby" キーをオンにします。
●ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待つて、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. "on/standby" キーをオフ (standby) にします。

NO DISC

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



接点復活剤について

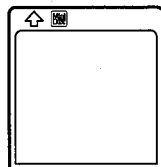
接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ミニディスクシステムの特徴をまとめると、次のようになります。

- ① CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ② カートリッジに入った直径64mmのミニディスクを使用する。
- ③ 2種類のミニディスクに対応する。(再生専用、録音→再生)
- ④ 高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤ 半導体メモリーを使った耐震技術。

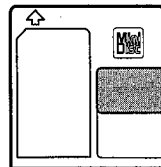
再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



録音用ミニディスク

録音が可能なミニディスクで、光磁気ミニディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ミニディスクの下面からレーザー光を照射し、ミニディスクの上面から磁界を印加して記録しています。

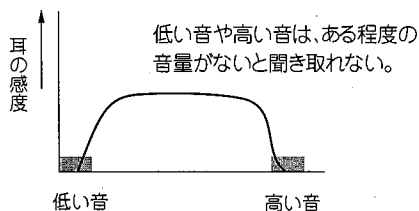


高能率符号化技術 "ATRAC" (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング

ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された高能率符号化技術によって可能となりました。ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音



大きな音の近くの小さな音

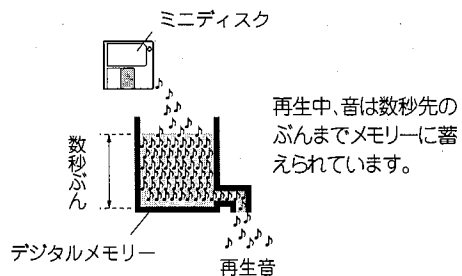
大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。(マスキング効果)



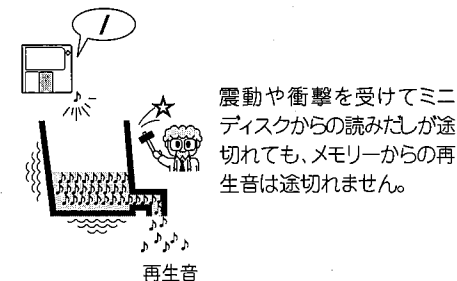
音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時



震動があったとき



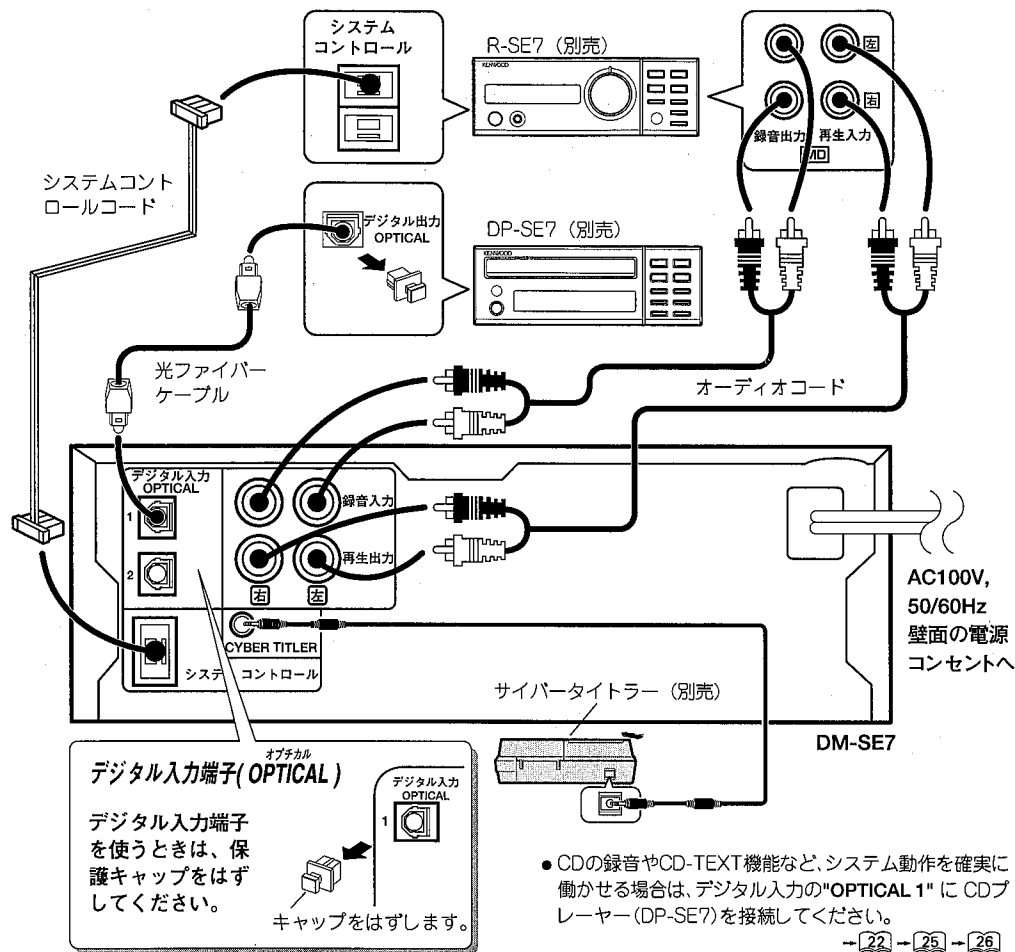
下図のように接続してください。

関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意 接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。



● CDの録音やCD-TEXT機能など、システム動作を確実に働かせる場合は、デジタル入力の"OPTICAL 1"にCDプレーヤー(DP-SE7)を接続してください。

→ 22 → 25 → 26

● "OPTICAL 2"は、市販のデジタル機器(BSチューナー、DATなど)が接続できます。

→ 22 → 23

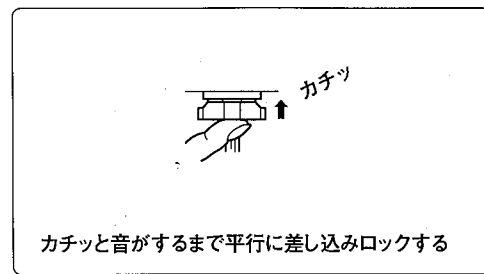
光ファイバーケーブルの接続について

CDプレーヤー(DP-SE7またはDP-7PRO)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

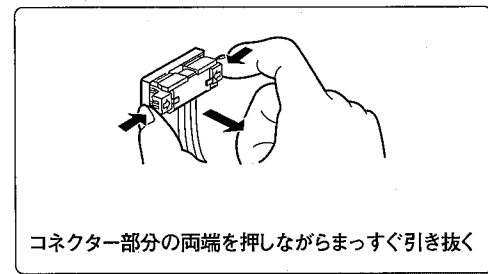
システムコントロールコードの接続

コネクタを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

コネクタを抜く



コネクタ部分の両端を押しながらまっすぐ引き抜く

システム動作について

イージーオペレーションについて

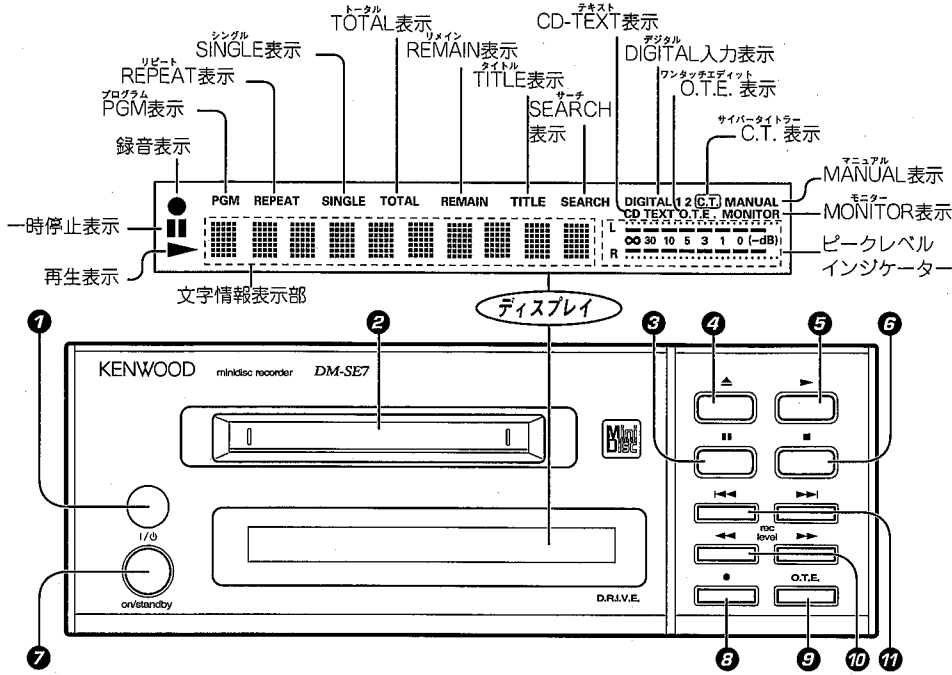
本機が、アンプ・チューナー(R-SE7)とシステムコントロールコードで接続されているとき、R-SE7付属のリモコンで基本操作ができます。また、R-SE7の入力切り換えに対応した動作をするイージーオペレーション(双方向の操作)が可能です。詳しくは、R-SE7の取扱説明書をお読みください。

タイマー録音/再生について

本機が、アンプ・チューナー(R-SE7)とシステムコントロールコードで接続されているとき、タイマー再生や放送のタイマー録音が可能です。詳しくは、本機の取扱説明書と、R-SE7の取扱説明書を合わせてお読みください。本機: "録音のしかた (ANALOG)" 手順 1 ~ 2 のみ操作。

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

表示部/本体部

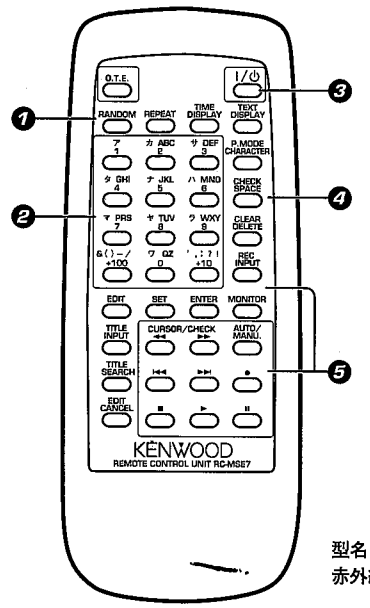


- ① リモコン受光部 → [12]
リモコンでの各キー操作を、受け付けます。
- ② ミニディスク挿入口 → [13]
ミニディスクを挿入します。
- ③ 一時停止 (II) キー → [15]
一時停止キーとして使います。
- ④ イジェクト (▲) キー → [15]
ミニディスクを取り出すときに押します。
- ⑤ 再生 (▶) キー → [13]
再生キーとして使います。
- ⑥ 停止 (■) キー → [15]
動作を停止させます。
- ⑦ "on/standby" (I/O) キー → [13]
電源をオン/オフ (スタンバイ) します。
- ⑧ 録音 (●) キー → [21]
録音キーとして使います。
- ⑨ ワンタッチエディット (O.T.E.) キー → [25]
CD再生中の曲を、すぐ録音したいときに使います。
- ⑩ 早送り、早戻し (◀▶) / rec level キー → [16]
再生のときは、早送り、早戻しに使います。
録音のときは、録音レベルの調節に使います。 → [20]
- ⑪ スキップ (◀▶▶) キー → [16]
再生のときは、スキップ (曲の飛び越し) に使います。
編集のときは、トラックNo. やタイトル、文字の選択などに使います。 → [29] - [40] - [41]

"standby"状態について

本機の -STANDBY- 表示が点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行なわれています。これをスタンバイ状態といえます。このときは、リモコンで本機をONできます。"メモリーバックアップ"参照 → [4]

リモコン部



型名:RC-MSE7
赤外線方式

- ① 表示/録音操作キー
ワンタッチエディット O.T.E. キー → [25]
: CD再生中の曲を、すぐ録音したいときに使います。
RANDOM キー → [14]
: ランダム再生のときに使います。
REPEAT キー → [19]
: 繰り返し聴くときに押します。
TIME DISPLAY キー → [26]
: 時間表示モードを切り換えます。
TEXT DISPLAY キー → [26]
: CD-TEXTのディスクタイトル、またはトラック(曲)のタイトルを表示します。

- ② 数字キー
: 希望の曲を指定します。 → [14]
: タイトル入力するとき、文字や記号の選択に使います。 → [41] - [42]

- ③ on/standby (I/O) キー
: 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

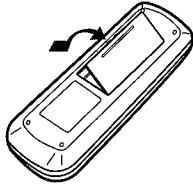
- ④ プログラム操作キー
P.MODE/CHARACTER キー → [17]
: プログラム再生のときに使います。タイトル入力ときは、文字グループの選択に使います。
CHECK/SPACE キー → [18]
: プログラム内容を確認します。タイトル入力ときは、1文字ぶんの空白を挿入します。
CLEAR/DELETE キー → [18]
: プログラムの内容を削除します。タイトル入力ときは、文字を削除します。

- ⑤ 基本操作キー/応用操作キー
CURSOR/CHECK: 早送り、早戻しキー → [15]
(本体キーと同様の働きをします。)
◀▶▶▶: スキップキー → [15]
(本体キーと同様の働きをします。)
●: 録音キー II: 一時停止キー
■: 停止キー ▶: 再生キー
AUTO/MANU キー → [20] - [21]
: 録音のとき、トラック番号を自動で付ける(AUTO)か、後で手動で付ける(MANU.)かを選びます。

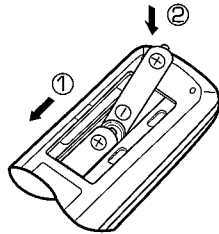
- 応用操作キー
REC INPUT キー → [20]
: 録音の入力ソースを切り換えます。
EDIT キー → [28]
: 編集モードの切り換えに使います。
SET キー → [28]
: 編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。
ENTER キー → [29]
: 編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。
MONITOR キー → [23]
: "DIGITAL 2" に接続された機器の音が聴けます。
TITLE INPUT キー → [40]
: タイトル入力モードの切り換えに使います。
TITLE SEARCH キー → [16]
: タイトルサーチモードの切り換えに使います。
EDIT CANCEL キー → [29]
: 編集の取消に使います。

電池の入れかた

1 ふたを開ける

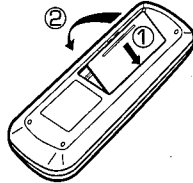


2 電池を入れる



●単3乾電池(R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

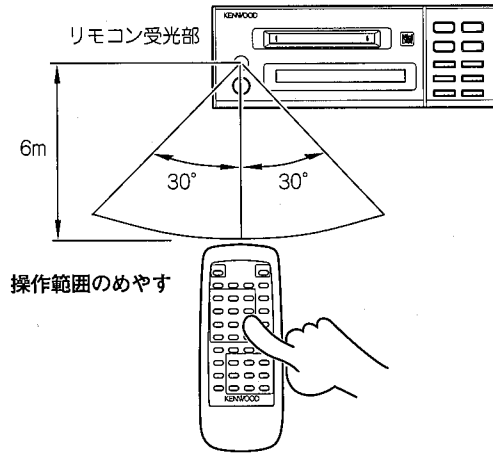
3 カバーを閉める



操作のしかた

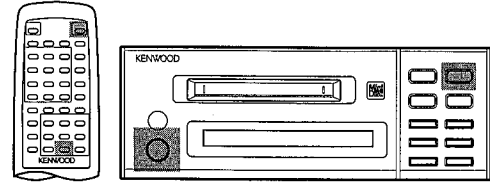
電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの^{オン} ^{スタンバイ} on/standby (I/O)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

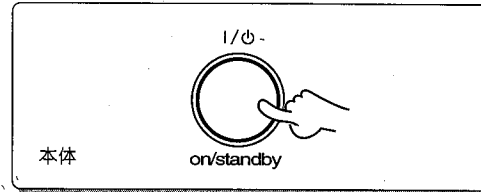
ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。



■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

1 曲目から順に聴く

1 電源を入れる

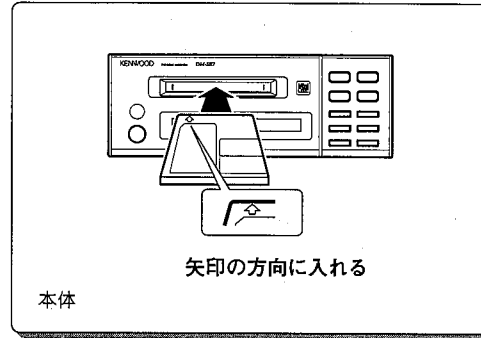


—STANDBY—

NO DISC

ミニディスクが入っていないとき

2 ミニディスクを入れる

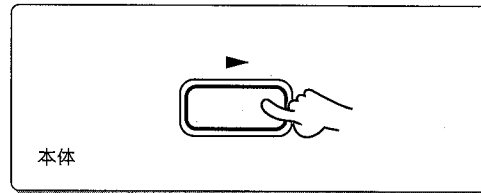


- ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。
- "READING"が点滅して、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

SINGLE

001 0:00

3 再生を始める



●数秒後に、1曲目から再生します。

SINGLE

▶ 001 0:12

再生中のトラック
番号

再生中の曲の経過
時間

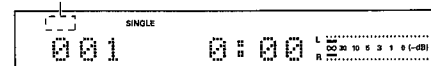
聴きたい曲を選ぶ

1 プログラム "PGM"表示消灯を確かめる

停止状態で操作する

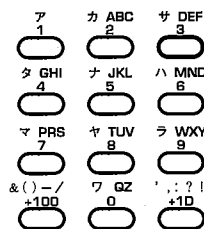


"PGM"消灯



- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンの **P.MODE/CHARACTER** キーを押して消灯させてください。

2 聴きたい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は...

23曲目: **+10** **+10** **3** の順に押す

40曲目: **+10** **+10** **+10** **+10** **0** の順に押す

曲の途中から聴くには...

7曲目の真ん中位から聴くとき(7.5):

7 **0** **5** の順に押す

再生中の曲の途中から聴くとき(.3):

0 **3** の順に押す

↑
例: **1** - **9** の間で指定できます。

ランダム 順不同で聴く (RANDOM再生)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

停止状態で操作する



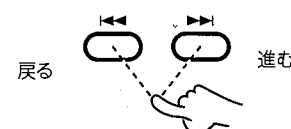
再生の途中で別の曲を選ぶには

▶▶キーを押します。

モノラル録音されたミニディスクについて

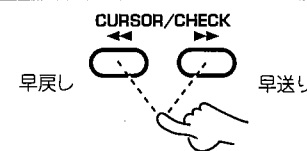
本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ録音時間内容がステレオモード時の半分のデータ量となるため、再生時間(録音時間)はステレオモード時の2倍(最大148分)になります。

曲を飛び越すには (スキップ)



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。(再生開始後2秒以内に押すと、前の曲の頭に戻ります。)

早送り・早戻しするには (サーチ)



- キーから手を離れたところから、再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラム再生時、早戻しをして曲の初めまでくると、その曲を再生します。

一時停止するには

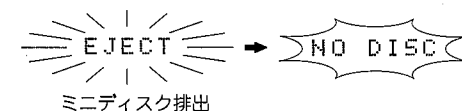
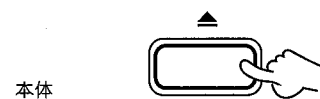


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



ミニディスクを取り出すとき



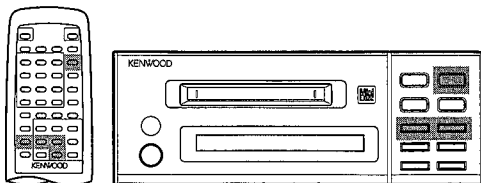
ミニディスク排出

本体

DM-SE7(L)

準備しましょう ● "PGM"表示を消灯させる。

P. MODE CHARACTER



：使用するキー、または、つまみ等を示します。

タイトル サーチ

聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

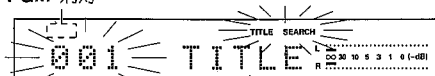
1 1 タイトル サーチ TITLE SEARCHキーを押す

TITLE SEARCH



中止するときは、もう一度タイトル サーチ TITLE SEARCHキーを押します

"PGM"消灯

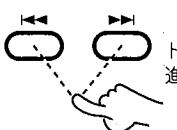


文字が左へ流れます

●タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と "....."が表示されます。

2 聴きたい曲名 (タイトル) を選ぶ

トラック番号が戻る



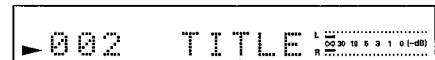
トラック番号が進む

再生される曲



タイトル

3 再生を始める

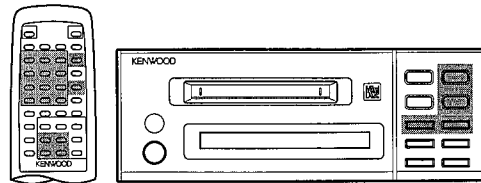


文字が左へ流れます

DM-SE7(L)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

準備しましょう ● ミニディスクを入れる。 ● 停止状態にする。



：使用するキー、または、つまみ等を示します。

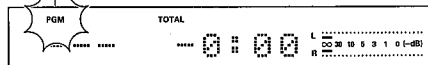
曲順を自由にプログラムする

1 プログラム "PGM"表示を点灯させる

P. MODE CHARACTER



"PGM"点灯



2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

① 聴きたい曲番号を、順に選ぶ

ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PRS 7	ヤ TUV 8	ラ WXY 9
& () - / +100	ワ OZ 0	.; : ? ! +10



② 確定する

P. MODE CHARACTER



③ 手順①と②を繰り返す

数字キーを押す順序は...

トラック番号12を選ぶとき: **+10** **[2]**、P.MODE/CHARACTERキーの順に押す。



- 32曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押してから、選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、表示が"-*:~*"になります。

● トラック番号表示の点滅中に、P.MODE/CHARACTERキーを押さないと入力中止されます。

3 再生する



● 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

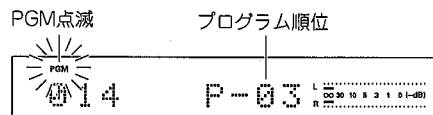
曲を追加するには

停止状態で操作する

●選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
●表示点滅中にP.MODE/CHARACTERキーを押さないと入力中止されます。

曲順を確かめるには

CHECK SPACE



●押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには (停止状態で操作する)

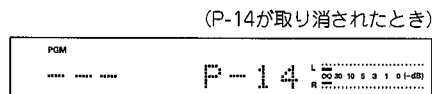
後ろから順に消す

CLEAR DELETE

全部消す

P.MODE CHARACTER

リモコン または 本体



取り消された後の、最後のプログラムを表示

●プログラムの内容が、全部消えます。

準備しましょう ●停止状態にする。



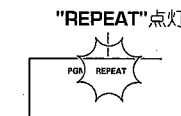
リピート 繰り返し聴く (REPEAT)

選んだ曲だけを繰り返すには

- 繰り返す曲を選ぶ
 - プログラム "PGM"表示を点灯させる
P.MODE CHARACTER
 - 好きな曲を選ぶ
- 手順②を繰り返す
- リピート "REPEAT"表示を点灯させる
- 再生する



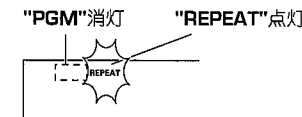
●選んだ曲全部を繰り返します。
●1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。



繰り返し再生をやめるには
もう一度、REPEATキーを押します。

ディスク全体を繰り返すには

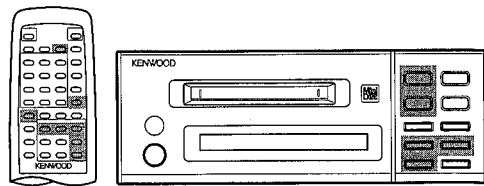
- プログラム "PGM"表示を消灯させる
P.MODE CHARACTER
- リピート "REPEAT"表示を点灯させる
- 再生する



繰り返し再生をやめるには
もう一度、REPEATキーを押します。

オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音します。(以後、アナログ録音と呼びます。)

- 準備しましょう ●ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 → 5
- ミニディスクを入れる。 → 26
- 録音可能時間を確かめる。 → 26

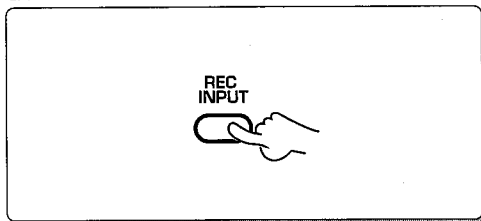


■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

ANALOG録音のしかた

1 アンプの入力切り換えを録音したいソースにする

2 "ANALOG"または"MONO"を選ぶ



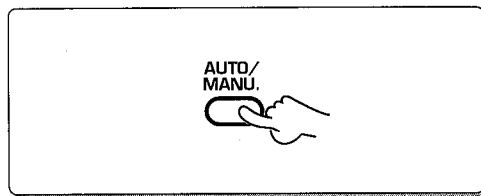
押すたびに切り換わります。

- ① ANALOG : アナログ"ステレオ"モード
- ② DIGITAL 1
- ③ DIGITAL 2
- ④ MONO : アナログ"モノラル長時間"モード



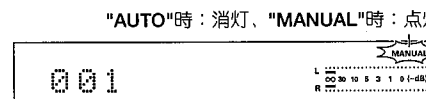
- "MONO"を選ぶと、入力ソースの音が、左右ミックスされて録音されます。
- ステレオで録音したときの約2倍の時間を録音できます。

3 "AUTO"または"MANUAL"にする



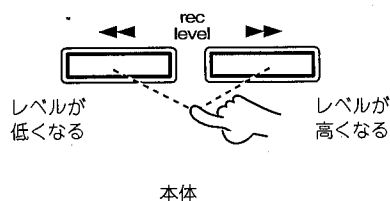
押すたびに切り換わります。

- ① 消灯(AUTO) : トラックNo.を自動的に付ける → 21
- ② MANUAL : トラックNo.を手動で付ける → 21

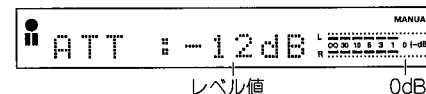


4 録音レベルを調節する

- 1 録音するソースを再生する
- 2 ●キーを押す
- 3 録音レベルを調節する

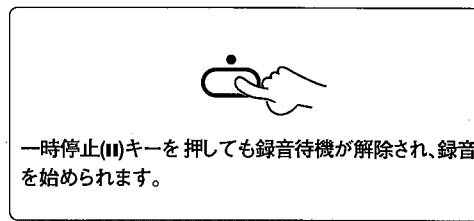


- ●キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。



- レベルメーターの0dBが、ときどき点灯するように調節します。
- レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。
- リモコンの◀▶キーでも、操作できます。

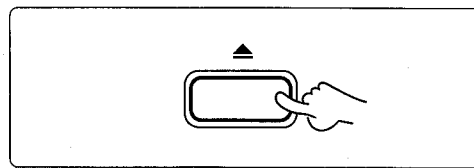
5 録音を始める



ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている → 不要な曲を消す。 → 36
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている → 閉める。 → 5
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである → 録音用ミニディスクを入れる。 → 6

6 録音終了後、ミニディスクを取り出す (本体のみ)

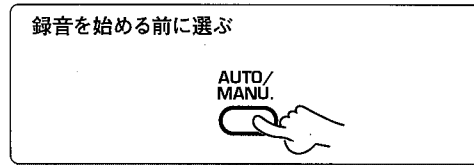


- 録音中は、イジェクトキーは、受け付けません。

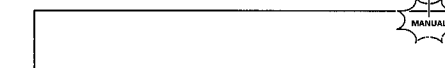
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

AUTO/MANU.キーについて

録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを切り換えます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムするときなどに使用します。



"AUTO"時：消灯、"MANUAL"時：点灯



AUTO:
録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除します。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。無音の検出はしません。再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

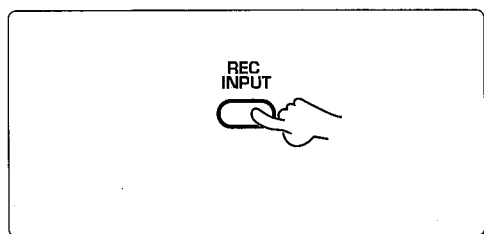
MANUAL:
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(EDITキーを押す)、または録音後(TRACK DIVIDEを操作する → 32)、トラック番号を付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

DM-SE7(J)
本機がCDプレーヤーと光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子(光入力端子)より入力された信号をデジタルの状態では録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

- 準備しましょう
- CDプレーヤーにCDを入れる。
 - ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 - 5
 - ミニディスクを入れる。
 - 録音可能時間を確かめる。(REMAIN) - 26
 - アンプの入力切り換えをCDにする。

DIGITAL録音のしかた

1 "DIGITAL1 (または2)" を選ぶ

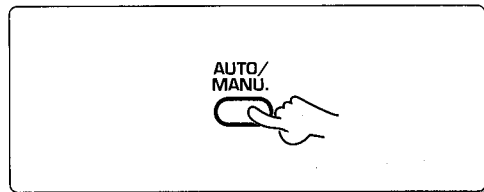


押すたびに切り換わります。

- ① ANALOG
- ② DIGITAL 1 : デジタルモード(システム接続されている時) - 8
- ③ DIGITAL 2 : (デジタルモードの予備)
- ④ MONO

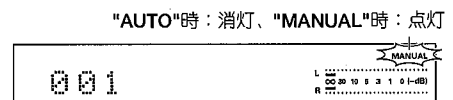


2 "AUTO" または "MANUAL" にする

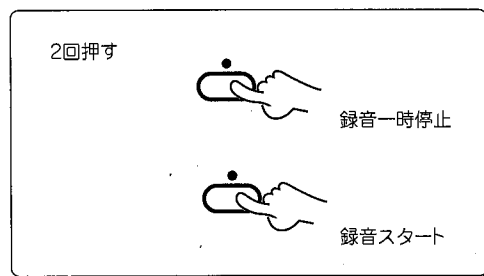


押すたびに切り換わります。

- ① 消灯(AUTO) : トラックNo. を自動的に付ける - 21
- ② MANUAL : トラックNo. を手動で付ける - 21



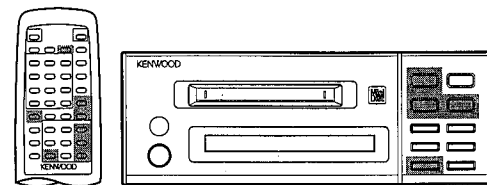
3 録音を始める



ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

- "UNLOCK" : サンプル周波数が32kHz、44.1kHz、48kHzでない。 - 24
→アナログ録音にする。 - 20
: 光ファイバーケーブルが外れているか、不完全である。(接続されていない)
→光ファイバーケーブルを正しく接続する。 - 8 - 9
- "SCMS ON" : SCMSによってデジタル録音禁止になっている。 - 24
→アナログ録音にする。 - 20
- "Not Audio" : 入力されているデジタル信号が、オーディオ信号でない。 - 21
その他、"DISC FULL" "PROTECTED" "PLAY ONLY" - 21

● 録音中にEDITキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

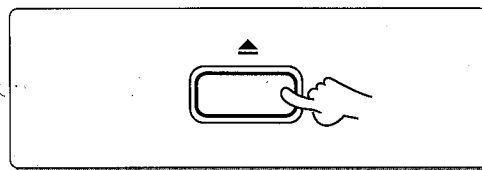


■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

4 CDプレーヤーを再生する

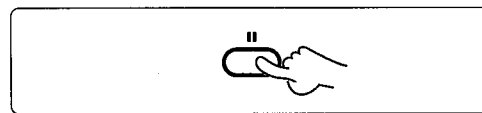
● 曲の初めから余裕をもって録音するためには、MDLレコーダーの時間表示が動き始めてから、CDプレーヤーの再生を始めてください。

5 録音終了後、ミニディスクを取り出す (本体のみ)



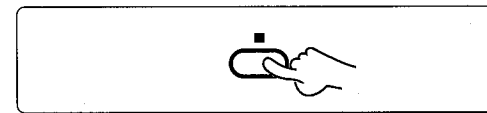
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

一時停止するには



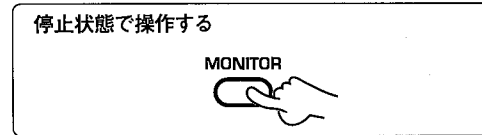
- 再び録音を開始するときは、もう一度押します。このときトラック番号は、"1" 繰り上がります。
- 録音(●)キーを押しても録音が始められます。

停止するには



MONITORキーについて

DIGITAL 2に接続された市販のデジタル機器(BSチューナー、DATなど)の音がモニターできます。ただし、本機を一般の単品コンポーネントとしてお使いの場合は、REC INPUTで選ばれた入力ソース(音)を聴くことができます。



● デジタル入力信号のサンプリング周波数が48kHz、44.1kHz、32kHz以外のときは、"UNLOCK"が表示され音は出ません。

CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"曲をまとめて消す(QUICK ERASE)または、再生中の曲を消す(TRACK ERASE)"を参照して削除してください。 - 36 - 38

デジタル DIGITAL録音とSCMSについて

ミニディスクでは、下記の条件においてデジタル録音することはできません。

- ① コピー禁止コードが付いているとき。(シリアルコピーマネージメントシステム...SCMS)... "SCMS ON"と表示して録音一時停止になります。
- ② 基準クロックがロックできない場合...^{アンロック}"UNLOCK"と表示して一時停止状態になります。

サンプリング・レート・コンバーターについて

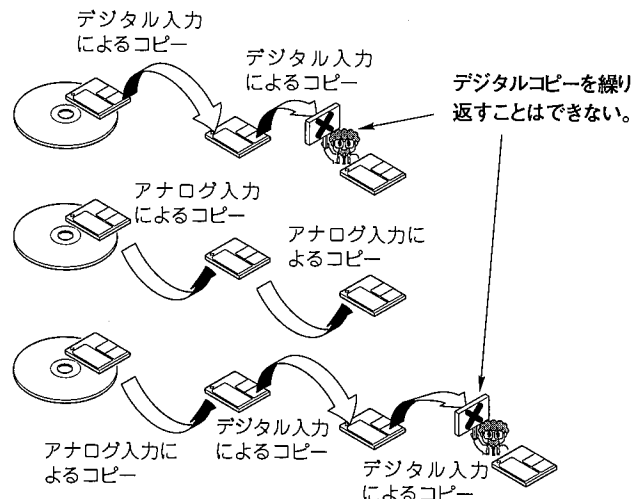
通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

- 32 kHz : DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
 44.1 kHz : DATの標準モード、CD、MD等。
 48 kHz : DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
 (DAT:Digital Audio Tape Deck)

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、32kHz、48kHzのデジタル信号を、MDのサンプリング周波数 (44.1kHz) に変換して録音することができます。

シリアル コピー マネージメント システム SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一代代だけと規定したものです。



ケンウッド製のシステムコントロール端子の付属したCDプレーヤー(DP-SE7またはDP-7PRO)と本機を、システムコントロールコードで接続すると、CD再生のときに気に入った曲をその場で選び、録音することができます。これをO.T.E. (One Touch Edit) 機能といいます。また、CDとのシンクロ録音もできます。

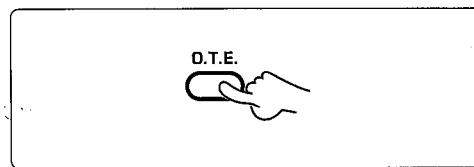
- 準備しましょう
- CDを"OPTICAL 1"に接続する。
 - アンプの入力切り換えをCDにする。
 - ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。
 - ミニディスクを入れる。

ワンタッチエディット

CDの1曲録音 (O.T.E.)

1 CDを再生する

2 ワンタッチ録音をする



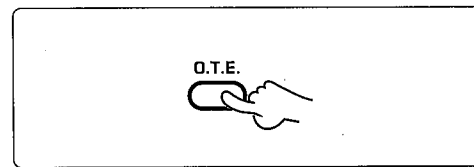
- CD再生状態でO.T.E.キーを押すと、再生中の曲の初めから再生し、1曲のみ録音します。
- その曲の録音が終了すると、MDレコーダーが停止します。CDプレーヤーは一時停止します。

録音を途中で止めるとき、■キーを押す。

CDの全曲録音 (O.T.E.)

1 CDを停止する

2 ワンタッチ録音をする



- CD停止状態でO.T.E.キーを押すと、CD全曲を録音します。
- 全曲の録音が終了すると、MDレコーダーとCDプレーヤーは停止します。

録音を途中で止めるとき、■キーを押す。

CDとのシンクロ録音

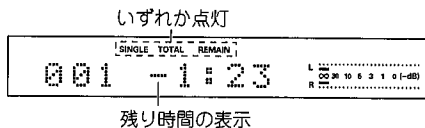
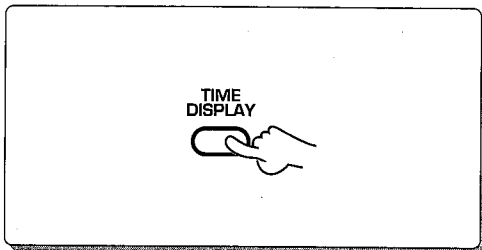
ケンウッド製のシステムコントロール端子の付属したCDプレーヤー(DP-SE7またはDP-7PRO)と本機を、システムコントロールコードで接続して、次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

- ① アンプの入力切り換えをCDにする
- ② CDを一時停止にする
- ③ CDの録音したい曲を◀◀、▶▶キーで選ぶ
- ④ MDレコーダーを録音一時停止にする
- ⑤ CDの再生を始める

録音を途中で止めるとき、■キーを押す。

タイム ディスプレイ TIME DISPLAYキーについて

時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

- ① SINGLE (+) : 曲の経過時間
- ② SINGLE (-) : 曲の残り時間
- ③ TOTAL (+) : 曲の総経過時間
- ④ TOTAL (-) : 曲の総残り時間
- ⑤ REMAIN : ディスクの録音可能(残量)時間
- ⑥ TITLE : ディスクタイトル表示(停止時) / トラックタイトル表示(再生時)

録音中

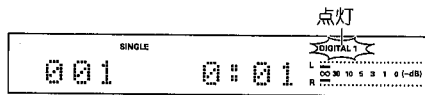
- ① SINGLE (+) : 録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL (+) : 録音時の総経過時間
- ③ REMAIN : ディスクの録音可能(残量)時間

● 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、"NO TRACKS"と表示)

テキスト ディスプレイ TEXT DISPLAYキーについて

システム接続されたCDプレーヤー(DP-SE7またはDP-7PRO)に、CD-TEXT対応のディスクを入れたとき、収録されたテキスト情報(データ)を、本機側でも同時に読み込み、表示することができます。

- ① アンプの入力切り換えをCDにする
- ② CD、MDを停止状態にする
- ③ REC INPUTキーで"DIGITAL 1"を選ぶ
- ④ TEXT DISPLAYキーを押す

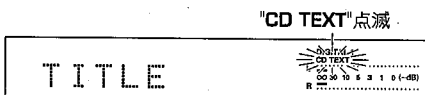


押すたびに切り換わります。

- ① CD TEXT点滅(CD-TEXTの表示モード)
- ② CD TEXT消灯(MDの表示モード)

操作後の表示

- TEXT LOAD : データ取り込み中
- COMPLETE! : 取り込み完了
- CAN'T LOAD : 取り込み不可能



停止時: ディスクのタイトルが表示されます。
再生時: トラック(曲)のタイトルが表示されます。

● CDプレーヤーのディスクを取り出したとき、またはMDのREC INPUTを切り換えたとき、テキスト情報(データ)は、クリアされます。

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。

再生専用のミニディスクは編集できません。
("PGM"表示点灯のときは、編集できません。)

MD規格上の機能制限について

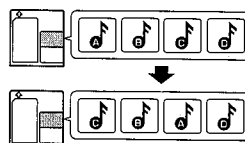
いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認くださいませようお願いします。 - [46]

本機で編集中は、サイバータイタラー (CT-G90またはCT-H90) からのタイトル転送はできません。

編集機能のタイプを選ぶ

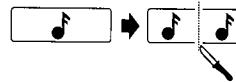
曲順の入れ換え

再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE) - [28]
曲順をまとめて入れ換える (QUICK MOVE) - [30]



曲の分割と結合

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE) - [32]

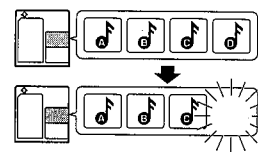


再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE) - [34]

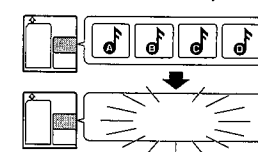


曲の消去

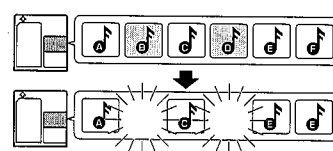
再生中の曲を消す (TRACK ERASE) - [38]



全曲消す (ALL ERASE) - [36]

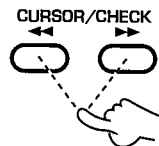


曲をまとめて消す (QUICK ERASE) - [36]



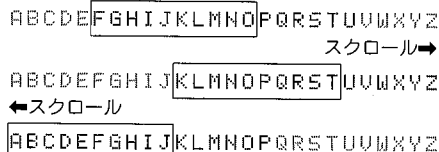
表示部のスクロールについて

タイトルを入力しているなど、情報の量が多すぎて表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、◀◀、▶▶キーを続けて操作していくと、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。



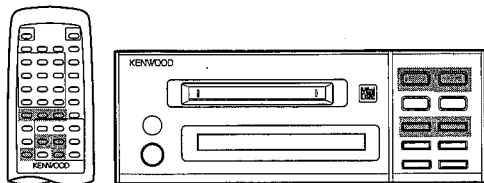
スクロールの例

表示される範囲 (全体を表示できない)



移動させたい曲を再生して、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

準備しましょう ● 移動する曲を再生する。



■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

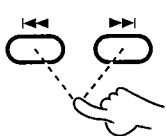
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE)

1 "MOVE"を選ぶ

① EDITキーを押す



② "MOVE"を選ぶ



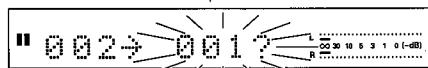
③ 確定する



◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE ?
- ② COMBINE ?
- ③ ERASE ?
- ④ MOVE ?

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 移動先を選ぶ

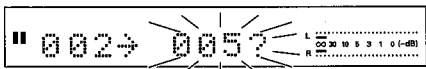
① 曲(トラック番号)を選ぶ



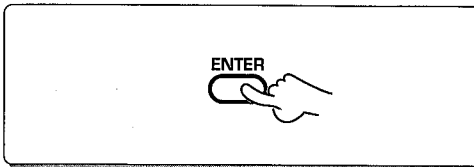
② 確定する



移動先のトラック番号



3 曲順の入れ換えを実行する

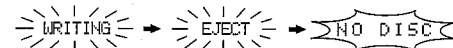
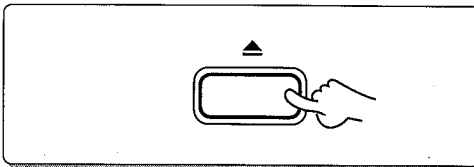


実行後の表示

- EDIT NOW ! : 編集中
- COMPLETE ! : 編集完了
- CAN'T EDIT : 編集不可能

- 移動した曲の最初から再生が始まります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



情報を書き込み中

ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

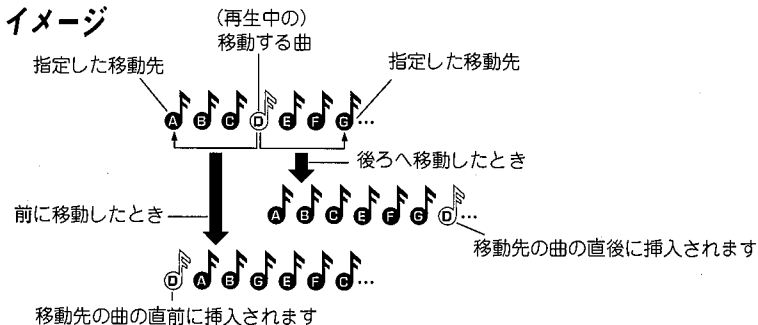
編集した内容を取り消すとき(EDIT CANCEL)

ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れたときと同じ状態に戻すことができます。取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。

停止状態で操作する

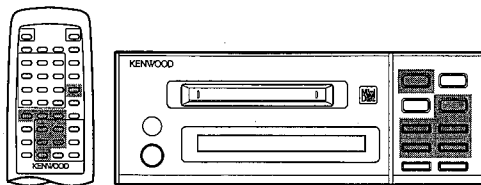


曲を移動するイメージ



並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。(最大255曲)

準備しましょう ● 停止状態にする。



■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

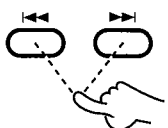
曲順をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

1 Q.MOVEを選ぶ

① EDITキーを押す



② "Q.MOVE"を選ぶ



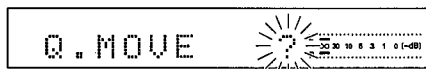
③ 確定する



◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

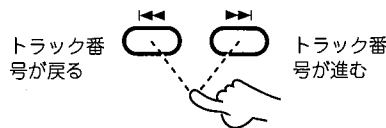
- ① Q.MOVE
- ② Q.ERASE

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 移動したい曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

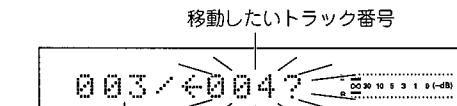


② 確定する



③ 手順①と②を繰り返す

④ 並べ換え群の選択を終了する

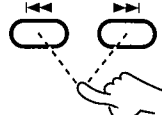


選ばれたトラック番号

- CURSOR/CHECK キーで、選んだ曲順の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったんEDITキーを押し、最初からやり直してください。)

3 曲順の入れ換えを実行する

① 移動先を選ぶ



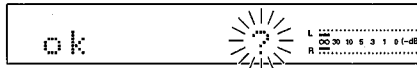
② 確定する



③ 並べ換えを実行する



トラックNo.4とNo.5の間に移動する例

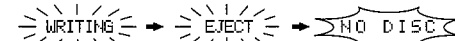
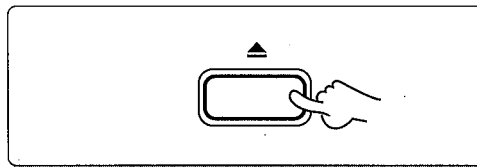


実行後の表示

- EDIT NOW! : 編集中
- COMPLETE! : 編集完了
- CAN'T EDIT : 編集不可能

● 誤って実行をした場合は、EDIT CANCELの操作をする
と編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



情報を書き込み中 → ミニディスク排出

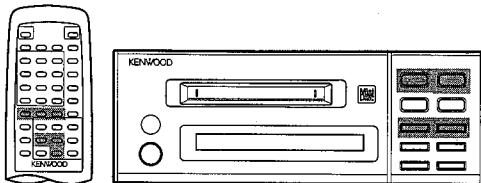
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ換えるイメージ



曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

プレビュー機能を使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整が出来ます。



■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

トラック デイバイド

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)

1 分割したい曲を再生する

●再生一時停止中にも編集できます。

2 希望の所でEDITキーを押す

エディット

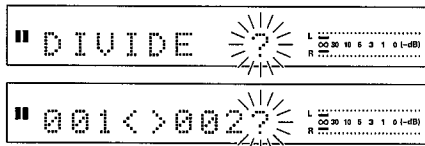
- EDITキーを押す
- "DIVIDE"を選ぶ
- 確定する

♪ プレビューをしないときは、一度 **ENTER** キーを押してから手順②へ進みます。

◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

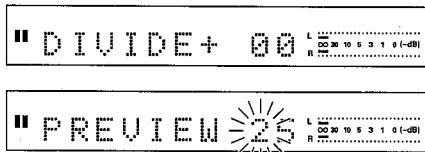
- DIVIDE ?
- COMBINE ?
- ERASE ?
- MOVE ?

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

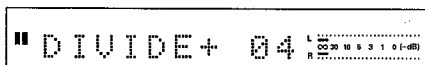


3 プレビューをするとき

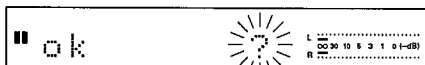
- 分割モードにする
- プレビューの実行
- 分割の微調整をする
- 分割点を確定する



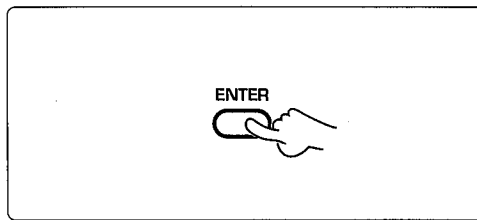
●分割点から約3秒が繰り返し再生されます。



●分割点の微調整は、EDITキーを押した所から後に、60ms (6/100秒)単位で32ステップ(約2秒の範囲で)可能です。

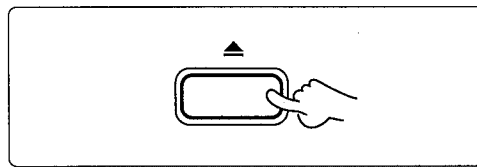


4 曲の分割を実行する



手順②~④を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

5 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



実行後の表示

エディット ナウ
EDIT NOW! : 編集中
コンプリート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセルト エディット
CAN'T EDIT : 編集不可能

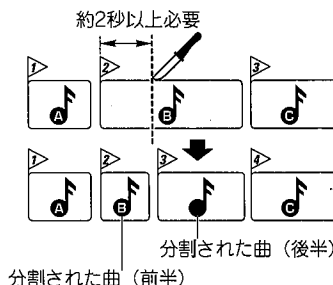
●誤って実行をした場合は、"**EDIT CANCEL**"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

●分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
●MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

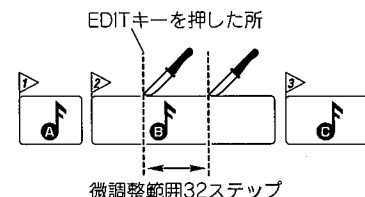


ライティング
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

♪ 曲を分割するイメージ

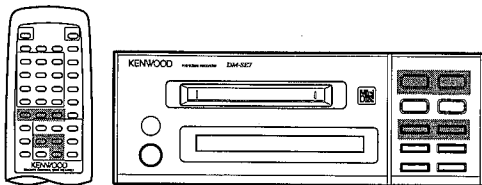


♪ プレビューのイメージ



DM-SE7(J)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。



■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

1 つなげたい曲を再生する

2 COMBINEを選ぶ

① EDIT キーを押す

② "COMBINE"を選ぶ

③ 確定する

再生中の曲と、次の曲をつなぐ場合は、ENTER キーを押してから手順 2へ

3 他の曲をつなぎたい場合

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が戻る

トラック番号が進む

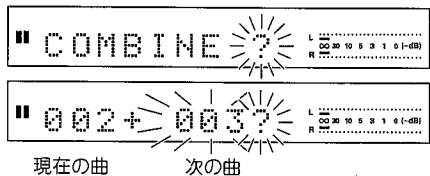
② 確定する

●再生中に編集を始めると、一時停止になります。

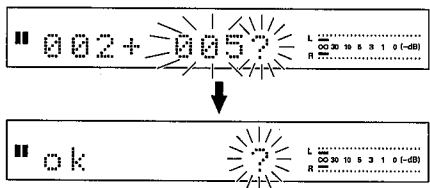
押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE ?
- ② COMBINE ?
- ③ ERASE ?
- ④ MOVE ?

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

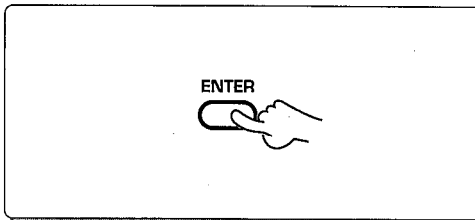


2曲目と5曲目をつなぐ場合



DM-SE7(J)

4 曲と曲の結合を実行する

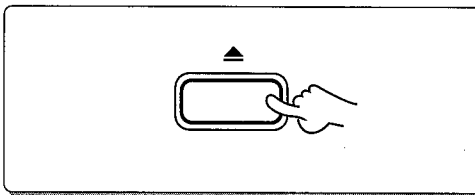


実行後の表示

- EDIT NOW! : 編集中
- COMPLETE! : 編集完了
- CAN'T EDIT : 編集不可能

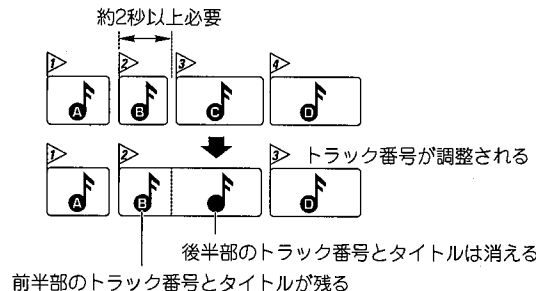
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 - [29]
- 再生中に編集を始めた場合は、その曲の最初から自動的に再生が始まります。
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。

5 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

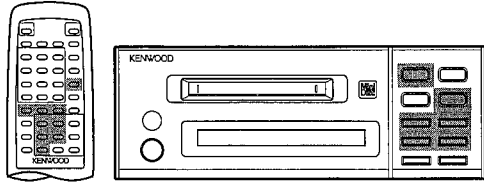


停止中に、選んだ曲または全曲消去することができます。
ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

準備しましょう ● 停止状態にする。



クイック イレース



■ : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

曲をまとめて消す (QUIK ERASE)

1 "Q.ERASE"を選ぶ

① EDITキーを押す

② "Q.ERASE"を選ぶ

③ 確定する

🎵 全曲を消去する場合は、右を参照。

2 消したい曲を選ぶ

① 削除したい曲を選ぶ

② 確定する

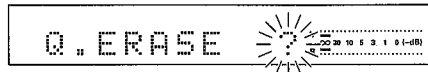
③ 手順①②を繰り返す

④ 選択を終了する

◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① Q.ERASE ?
- ② Q.MOVE ?

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

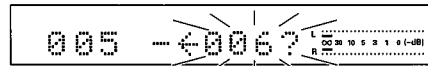
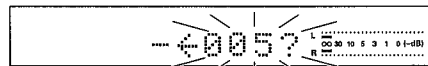


全曲消したいとき：

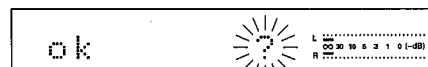
"-<ALL?"の表示中に、SETキー、ENTERキーの順に押します。

● 全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)

削除したい曲番を表示させる



- CURSOR/CHECK キーで、選んだ曲の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、表示中の曲が、消去選択群の中から削除できます。



3 消去を実行する

実行後の表示

- EDIT NOW! : 編集中
- COMPLETE! : 編集完了
- CAN' T EDIT : 編集不可能

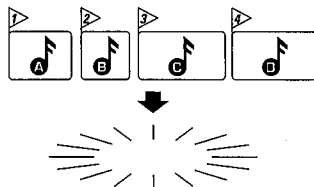
● 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をする
と編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す (本体のみ)

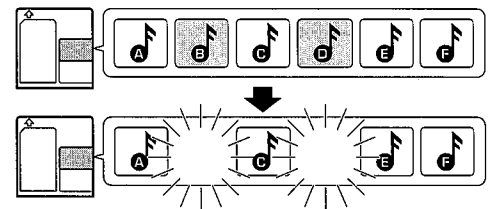


"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

🎵 全曲を消す (ALL ERASE) イメージ



🎵 曲をまとめて消す (QUIK ERASE) イメージ

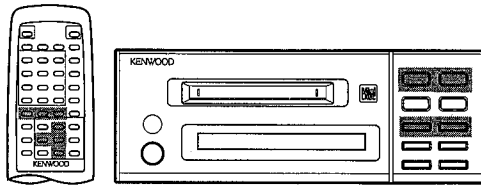


再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

準備しましょう ● 消したい曲を再生する。



トラック イレース



■: 使用するキー、または、つまみ等を示します。

再生中の曲を消す (TRACK ERASE)

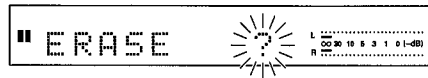
1 "ERASE" を選ぶ

① EDITキーを押す
② "ERASE" を選ぶ
③ 確定する

◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE?
- ② COMBINE?
- ③ ERASE ?
- ④ MOVE ?

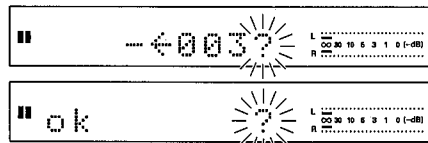
● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 消去を実行する

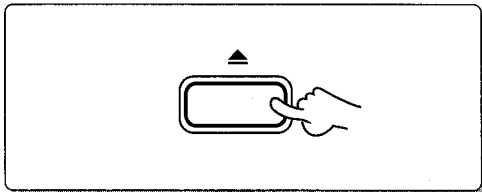
① 消去の確認
② 消去を実行する

消去するトラック番号



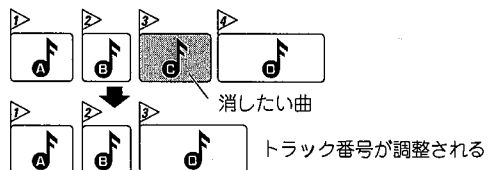
● 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)

3 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

消したい曲のイメージ



再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分だけを1つの曲にし、再生中の曲を消す (TRACK ERASE) 機能で消去します。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

曲の一部分を消す

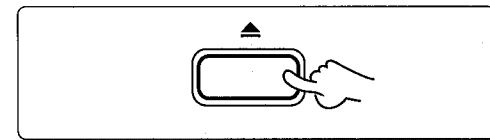
1 消したい部分を1つの曲に分ける

"再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)" 機能を使って、消したい部分だけで1つの曲になるように、編集してください。

2 消したい部分を消去する

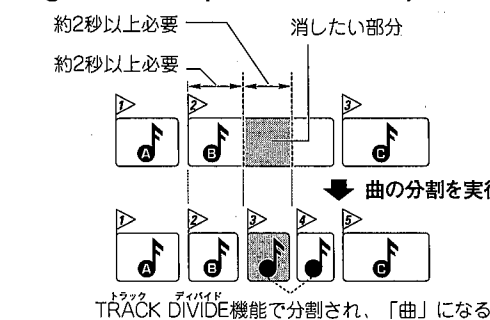
手順1で作った「曲」(消したいところ)を、「再生中の曲を消す (TRACK ERASE)」機能を使って、消去してください。

3 ミニディスクを取り出す (本体のみ)

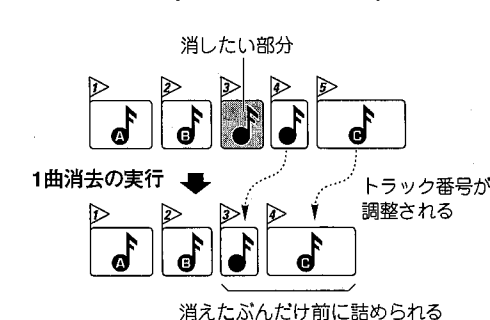


"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

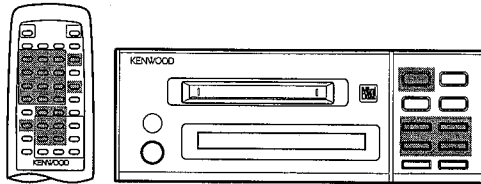
曲を分ける (TRACK DIVIDE)



曲を消す (TRACK ERASE)



ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。



: 使用するキー、つまみ、等を示します。

タイトル編集のしかた

1 タイトル入力状態にする

1 **TITLE INPUT**キーを押す

2 編集するタイトルを選ぶ

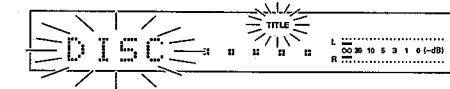
● ②または③の表示中に繰り返し操作すると、トラックNo.またはプリセットタイトル(PRE1-9)が選べます。

3 確定する

中止するときは、もう一度**TITLE INPUT**キーを押します。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETE)をご利用ください。

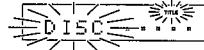


◀▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DISC..... (ディスクタイトル)
- ② 001..... (トラックタイトル)
- ③ PRE1 Pops (プリセットタイトル)
- ④ ALL ERASE? (ディスクとトラックタイトルの全消去)
- ⑤ TEXT LOAD

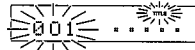
ディスクタイトルのとき:

DISCを選びます。



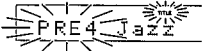
トラックタイトルのとき:

目的のトラックNo.を選びます。

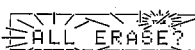


プリセットタイトルのとき:

目的のプリセットNo.を選びます。



ディスクとトラックタイトルの全消去:



各種記号(ASCIIコード)一覧:
!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@_`

プリセットタイトル一覧:(初期設定)
PRE1 Pops →PRE2 Rock →PRE3 Classic →
PRE4 Jazz →PRE5 Disco →PRE6 Best Hits →
PRE7 Air Check →PRE8 No. →PRE9 Vol.

2 タイトルを入力する

1 文字グループを選ぶ

2 文字を選ぶ

● 数字キーで直接文字を選ぶこともできます。同じキーを繰り返し押しすと文字が変わります。(例: [2] を押したとき A→B→C と変わります。)

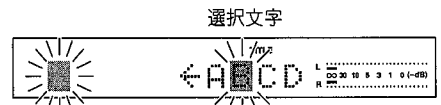
3 文字を確定する

4 手順①~③を繰り返す

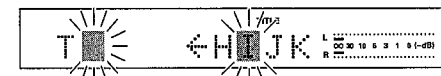
プレイモード/キャラクターキーを押すたびに下記の文字グループが選べます。

- ① A~Zとスペース(一文字ぶんの空白)
- ② a~zとスペース
- ③ 0~9と各種記号、プリセットタイトル(9種)など
- ④ アイウエオ...

● 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。



入力される場所



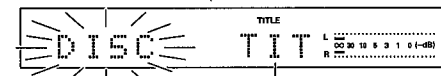
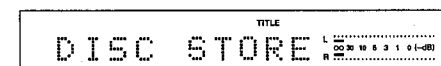
カーソルが移動、次の文字の入力待ち

● CURSOR/CHECK キーで、カーソルを左右に移動できます。

3 タイトル入力を実行する

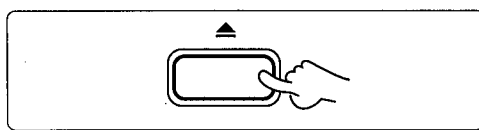
1 タイトルを書き込む

2 終了する

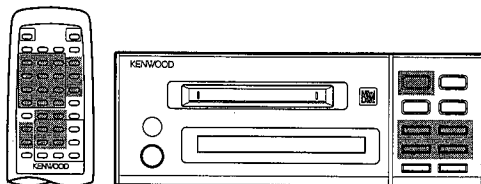


タイトルがスクロールする

4 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



情報を書き込み中 → ミニディスクを排出



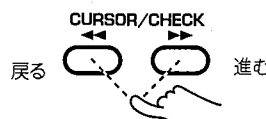
■ : 使用するキー、つまみ、等を示します。

タイトルを変更、消去する

1 "タイトル編集のしかた"の、手順 1 を行なう

2 1文字ずつ変更または消去していく

① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



② 文字グループを選ぶ



③ "上書き" または "挿入" モードを選ぶ



④ 正しい文字を選ぶ



● 数字キーで直接文字を選ぶこともできます。同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。(例: [9] を押したとき W→X→Y と変わります。)

⑤ 文字を確定する



選択文字、点滅



● 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀、▶▶キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現われます。

プレイモード キャラクター
P.MODE/CHARACTERキーを押すたびに下記の文字グループが選べます。

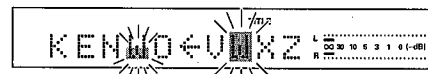
- ① A~Zとスペース(一文字ぶんの空白)
- ② a~zとスペース
- ③ 0~9と各種記号、プリセットタイトル(9種) など
- ④ アイウエオ...

タイトル サーチ
TITLE SEARCHキーを押すたびに切り換わります。

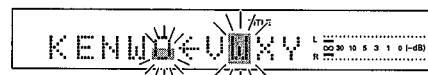
- ① 上書きモード: 文字を入れ替えるとき
- ② 挿入モード: カーソルの前に文字を入力するとき



● 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。



正しい文字を選択



カーソルが移動

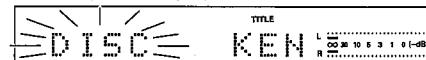
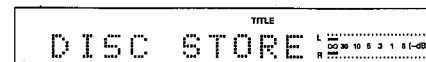
♪ 手順①~⑤の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。
タイトル消去(文字の削除)のときは、CLEAR/DELETEキーを押してください。

3 タイトルの変更、消去を実行する

① タイトルを書き込む

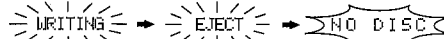


② 終了する

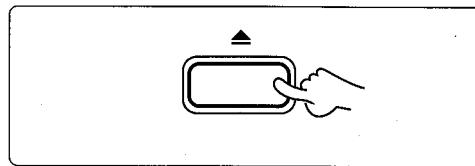


タイトルがスクロールする

4 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



WRITING → EJECT → NO DISC
情報を書き込み中 ミニディスクを排出



ライティング
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

プリセットタイトルについて

タイトル文字入力の際、プリセットタイトル(PRE1-9)を利用すると、1文字ずつ入力しないで済み効率的です。また、文字数の長いものや、使用頻度の多いタイトルを、任意のプリセットタイトルへ書き換えて登録しておくこともできます。(書き換えしたプリセットタイトルを初期設定に戻す場合は、"マイコンをリセットするには"を参照 → [46])

例: PRE4 (Jazz) を PRE4 (アーティスト名) に換えて、トラックNo.2へタイトルを付ける場合

プリセットタイトルの変更(書き換え)

- ① TITLE INPUTキーを押す。 P40手順 1-①
- ② ◀◀ ▶▶ キーで "PRE4" (Jazz) を選び、SETキーを押す。 P40手順 1-②③
- ③ P.MODE/CHARACTERキーで文字のグループを選ぶ。 P42手順 2-②
- ④ 数字キー (または ◀◀ ▶▶ キー) でアーティスト名 (1文字目) を入力し、SETキーを押す。 P42手順 2-④⑤
- ⑤ 手順④を繰り返してアーティスト名 (2文字目以降) を入力し、ENTERキーを押す。

プリセットタイトルの入力

- ① TITLE INPUTキーを押す。 P40手順 1-①
- ② ◀◀ ▶▶ キーでトラックNo.2を選び、SETキーを押す。 P40手順 1-②③
- ③ P.MODE/CHARACTERキーでプリセットタイトルの文字グループを選ぶ。 P41手順 2-①
- ④ ◀◀ ▶▶ キーで "PRE4" を選び、SETキーを押す。 P41手順 2-②③
- ⑤ ENTER、TITLE INPUTキーを順に押す。 P41手順 2-④⑤

キー機能について

タイトル サーチ
TITLE SEARCHキー:

タイトル入力時、上書きモードと挿入モードを切り換えます。

チェック スペース
CHECK/SPACEキー:

カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力)することもできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

カーソルの種類

上書きモード:カーソル "■" が大きくなる
挿入モード:カーソル "□" が小さくなる

システム接続されたCDプレーヤーに、CD-TEXT対応のディスクを入れたとき、収録されたテキスト情報(データ)と曲をMDにコピーすることができます。なお、CDに文字情報のコピー禁止コードの入っている場合、本操作はできません。

- 4

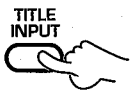
- 準備しましょう
- ① アンプの入力切り換えをCDにする。
 - ② CDのPGMモードをOFFにする。
 - ③ CDとMDは停止状態にする。
 - ④ MDのREC INPUTキーで、"DIGITAL1"を選ぶ。

- 26

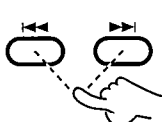
CDテキストをコピーするには

1 CDのテキストをMDに取り込む

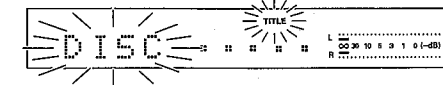
- ① TITLE INPUTキーを押す



- ② "TEXT LOAD"を選ぶ



- ③ 確定する



◀▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DISC
- ② 001
- ③ PRE1 Pops
- ④ ALL ERASE?
- ⑤ TEXT LOAD



実行後の表示

COMPLETE! : 取り込み完了
CAN'T LOAD : 取り込み不可能

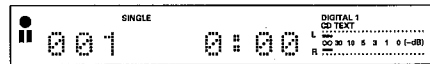
- 47

2 テキストをコピーしながら曲を録音する

- ① MDを録音一時停止にする



- ② CDを再生する

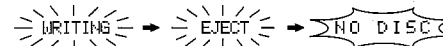
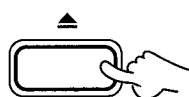


実行後の表示

CAN'T COPY! : コピーができない

- 47

3 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



情報を書き込み中 ミニディスクを排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

サイバー・タイトラーを使うとき

本機に、サイバー・タイトラー(別売)を専用通信ケーブルで接続することにより、録音用MDへのタイトル入力からMDケースやカセットケースへのラベルプリントの作成ができます。またMD録音中に離れた場所でのタイトルの打ち込みができ、そのデータを本機に転送し編集後、再びサイバー・タイトラーにデータを転送するなど、タイトル編集が双方向通信で行えます。詳しくは、サイバー・タイトラー(CT-G90別売、およびCT-H90別売)の取扱説明書をお読みください。(但し、いずれも本機との漢字を使ったタイトル編集はできません。)

本機で編集中は、サイバータイトラー(CT-G90またはCT-H90)からのタイトル転送はできません。

タイトル編集例

サイバー・タイトラーで、MDに貼るラベルを作るとき

- ① サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。または、MDからタイトルを読み込む。
- ② サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
- ③ サイバー・タイトラーでプリントする。
- ④ MDのケースにラベルを貼る。

サイバー・タイトラーで、MDにタイトルを入力するとき

- ① サイバー・タイトラーでディスクや曲のタイトルを入力する。
- ② サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
- ③ MDにタイトルが入力される。

サイバー・タイトラーでタイトル作成、MDレコーダーでタイトル編集、サイバー・タイトラーでラベルを作るとき

- ① サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
- ② サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
- ③ MDレコーダーで、タイトルを編集する。
- ④ MDレコーダーからサイバー・タイトラーへタイトルを送る。
- ⑤ サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
- ⑥ サイバー・タイトラーでプリントする。
- ⑦ MDのケースにラベルを貼る。

接続に使用するケーブルについて

接続には、必ずサイバー・タイトラー付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のもをご使用になると、正しく動作しません。また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器への電波障害を与えることがあります。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、イジェクト(▲)キーを押しながら、差し込み直す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

MD規格上の症状

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります) このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間(60分、74分)と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集できた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用ミニディスク(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意味	処置
アンロック UNLOCK	●サンプリング周波数が38kHz、44.1kHz、48kHz以外の入力ソースをデジタル録音しようとしている。 ●光ファイバーケーブルがはずれているか、不完全である。(接続されていない。)	●アナログ録音に切り換える。 → [20] ●光ファイバーケーブルを正しく接続する。 → [8] → [9]
オン SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。 → [20]
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。 → [40]
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
ノー トラックス NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。
リーディング READING	●TOC *1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。
ディスク エラー DISC ERROR	●ユートック *2 の内容が異常である。	●"QUICK ERASE"の全曲消去←ALL?を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。 → [36]
キャンセル エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。	●制限範囲内で編集する。
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。
プロテクト PROTECTED	●ミニディスクが"WRITE PROTECT"されている。	●"WRITE PROTECT"を解除する。 → [5]
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクを入れる。 → [6]
キャンセル ロード CAN'T LOAD	●CDテキスト対応のディスクがCDプレーヤーに入っていない。 ●CDプレーヤーと光ファイバーケーブルが接続されていない。	●CDテキスト対応のディスクをCDプレーヤーにセットする。 ●CDプレーヤーと光ファイバーケーブルを接続し、MDレコーダーのREC INPUTを合わせる。
キャンセル コピー CAN'T COPY	●ディスクによって、タイトルコピーできないものがあります。	●そのディスクのタイトルは、コピーできません。(ディスクを変える)

その他の症状

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 → 8 ●ミニディスクを入れる。 → 13 ●録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(アナログ録音時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●REC INPUTキーの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ●システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → 5 → 6 ●アナログ録音にする。 → 20 ●録音レベルを調節し直す。 → 20 ●録音用ミニディスクを入れる。 → 6 ●ミニディスクを入れ換える。 ●実際の入力ソースと合わせる。 → 20 → 22 ●アンプの入力切り換えをMD以外にする。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"録音レベルを調節する"をお読みください。 → 20 ●ミニディスクを交換する。
雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ●外部の雑音を誘導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。



トック TOC*1 : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (テーブル オフ コンテンツ Table Of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。 → [47](#)

ユートック UTOC*2 : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC (ユーザーズ テーブル オフ コンテンツ User's Table Of Contents) と呼びます。このUTOCには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。 → [47](#)

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC (Adaptive ^{デジタル} Transform ^{トランスフォーム} Acoustic ^{アコースティック} Coding) ^{コーディング}
回転数	約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバージョン	1ビット
オーバーサンプリング	128 fs (5644.8 kHz)

【A/Dコンバーター】

A/D変換方式	$\Delta \Sigma$ 方式
サンプリング周波数	44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8 Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	92dB 以上
ダイナミックレンジ(再生時)	90 dB 以上
総合ひずみ率(1 kHz、再生時)	0.007 %以下
チャンネルセパレーション(1 kHz、再生時)	85 dB 以上
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度/入力インピーダンス	300 mV / 70 k Ω
アナログ出力レベル/負荷インピーダンス	1.2 V / 3.2 k Ω
デジタル入力	
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	11 W
最大外形寸法	幅 200 mm
	高さ 77 mm
	奥行 247 mm
質量(重量)	2.1 kg(正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間内の場合、...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎている場合は、...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をオフにし、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

待機修理と出張修理

「待機修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)